

(1) 川口市文化芸術基本計画における事業評価結果について

頁	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
7	<p>情報収集発信事業 インターネット発信力を強化し、文化事業専門のホームページを作っていただきたいです。ホームページに事業や各団体の紹介（団体個別サイトやSNSへのリンクなど）を掲載することで、文化事業が多くの方に身近に感じてもらえるようになると思います。ホームページの開設までに時間がかかるようであれば、一時的にアトリアのホームページを間借りして対応していただきたいです。 市が一括して各団体のサイトの役割を果たすことで、高齢化が進みホームページ等を作ることができない文化事業関連団体の概要や活動についても周知することができ、市内文化事業の大きな窓口としての機能を持つことになると考えます。 また、先日、市のホームページに掲載されているPDF資料をスマートフォンで開くことができませんでした。スマートデバイス使用者が増加している現在、スマートフォンやタブレット環境にも互換性のあるPDF形式を導入していただきたいです。</p>	<p>本市ホームページ内の文化推進室のページに於いて、ご指摘いただきました内容の掲載は行っておりますが、ホームページに訪れる方が少ない状況です。今後、ホームページの見直し、SNSの活用拡大を含め検討してまいります。</p>
8	<p>文化芸術の情報収集・発信の充実 秋の文化祭開催にあたって、評価結果にあるように情報発信がまだまだ少ないように思う。例えば、2018年9月号広報かわぐちの文化祭の案内を見ると紙面上で少なく、紙面上が大きくとれないのであれば広報誌紙面から詳細表示されたホームページに誘導する方法があるように思います。また、残っている第72回文化祭のホームページを見ると各行事の詳細内容が不足していて、どんな内容なのか記載されていれば、文化祭に行くかどうかの判断をする人もいるのではないかと思います。確かに、ポスターの掲示、SNSの活用などこれからいろいろな広報の手法を模索する必要があるように思います。</p>	<p>いただきましたご意見を参考に今後検討して参ります。</p>
8	<p>文化芸術指導者活用事業 紹介実績をもっと増やせたらと思います。現状、少ない…。コロナでイベントを開催しづらい状況ですが、小中学生のみでなく、幼・保育園などのお子さんに生演奏や工作のワークショップなど届けられたら良いと思います。幼少期の体験が情緒を豊かにし、のちの良質な市民の増加につながると思います。コロナで大規模演奏会が中止になっていて、演奏家も活動が思うように出来ず困っています。小規模で感染対策をしっかりやって演奏の機会が増えたら大変嬉しいです。 先日、母校でコンサート&講演をしたのですが、校長先生はいつも人選に困っていると仰っていたので、この制度を知らないようです。</p>	<p>担当部署と協力して対応を検討いたします。</p>
13	<p>文化振興基金事業 文化振興基金事業の寄付金、目標値 300,000円に対して、実績値が 95,000円という内容について、上段 主な取り組みの文面にある、経営的戦略につながるメリットとありますが、企業が寄付をする上でのメリットがどのように設定されているのか。文化振興基金で実施する文化事業の内容と、寄付をする側である企業の考え方のバランスの取り方が大切だと思います。今後の展開をお聞かせください。</p>	<p>税制等優遇処置について、積極的にPRします。</p>
16	<p>歴史的文化遺産等の情報発信の充実 情報発信事業は市独自の文化遺産の保護のために、市民、特に若年層の興味を促し、将来につながるもので情報発信の仕組みをさらに高めることになるので、挑戦的に取り組んでいただきたい。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に申し伝えます。</p>

(1) 川口市文化芸術基本計画における事業評価結果について

頁	委員の皆様からのご意見・ご質問等	事務局回答
30	<p>図工美術まなび展 近年、夏休みの課題の多くは複数の選択肢から選択制になっています。そこで「図工美術学び展を見た感想文」などの課題があるのはいかがでしょうか。図工、美術の苦手な子供の多くは頑張っても上手に仕上がらないからそれを不得意としています。子供の鑑賞能力や感性に対しては評価を行うことが今まであまりありませんでした。図工美術まなび展の身近な同年代の作品を見ることで関心が強まり視点や感受性の糸口になり、将来的にプレイヤーでなくてもサポーターとしての意識をもってもらえるのではないかと考えます。1つの行事から連鎖的に新たな文化的人材育成につながるようなことが川口市内でできれば素敵だと思います。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に提案いたします。</p>
30	<p>ARTCLUB展 現在の会期では3年生不在で行う行事となってしまっています。受験、卒業シーズンと重複していて現実的に3年生は出品できません。運動部であれ、吹奏楽であれ活発な部活動は引退する3年生には有終の美が用意されるものです。そこで、会期を一般的に文化部3年生が引退する2学期前半に合わせてはどうでしょうか。3年生にとっては「卒業制作」として充実した発表の機会になり、1、2年生にとっては3年生からいろいろなことを継承できる機会にもなります。また、夏休み後に開催することで夏休みを制作期間、準備期間に充当できるため作品や展示形式のクオリティを高めやすく、展覧会そのものがさらに盛り上がっていくはずです。</p>	<p>いただきましたご意見を担当課に提案いたします。</p>